

## 大阪市保育運動連絡会総会特別決議（案）

### 「大阪万博、子どもたち行っていいの？」

#### 子どもたちを守るとりくみを行いましょう！

2025年4月13日～10月13日の半年間、「いのち輝く未来社会のデザイン（Designing Future Society for Our Lives）」をテーマに「大阪・関西万博」が開催されます。今、小中高生らを遠足で招待する計画をめぐり、引率する学校側や保護者、専門家、自治体から戸惑いの声が出ています。

万博会場となる夢洲は、もともとゴミや産業廃棄物の処分場であり、かねてから可燃性ガスの発生問題が指摘されており、国会でもその危険性が取り上げられていました。

そのような中で3月28日に溜まっていたガスに工事の火花が引火し、コンクリート床100平方メートルが破損する爆発事故を引き起こしました。しかも消防に連絡したのが発生から4時間半後でした。万博協会は「今後はガス濃度を測定する」として工事を再開しましたが、開催中の対策は未定のままです。

6月1日には大阪府都市教育長協議会、大阪府町村教育長は安全・安心の確保に大きな不安があるとして「緊急要望書」を大阪府教育委員会に提出しました。大阪府教育庁が確保する観光バスは1日10台しかなくバスを手配することが困難な状況であること、観光バスを利用しても駐車場から会場入り口まで1キロ近い徒歩移動となり小学校低学年には厳しいことや、他の公共交通機関でも混雑等で小学校低学年や配慮が必要な児童・生徒の利用は困難を伴うことなど指摘しています。会場内でも、食事場所になる屋根付き団体休憩所（2000人収容、入り替え制）は小学生優先でピーク時は混乱が想定され、中学生のまとまった食事場所確保や熱中症回避、雨天、災害、事故などの安全対策で不安・懸念があることを列挙しています。

現在、保育所等に通っている5歳児は来年1年生になり、遠足として大阪万博に行く可能性があります。今後、4・5歳児についても小中学生と同様に遠足で招待するという働きかけが大阪府や自治体からおこなわれるかもしれません。「大阪万博、子どもたちが行ってもいいの？」「こんな不安な万博をこのまま開催していいの？」と各保育園で大阪万博について学習や話し合いを行い、子どもたちを守るとりくみを行いましょう。

2024年6月14日（金）

大阪市保育運動連絡会